



一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

会報

Okayama association of
Medical Technologists

2017. 1月号
Vol.517

発行責任者

ホームページ: <http://okaringi.or.jp>
一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

編集責任者

中川裕美
倉敷リバーサイド病院 臨床検査室
TEL: 086-448-1111 (内線 201)
E-mail: hn8226@kchnet.or.jp



2017年 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方には輝かしい新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年7月に行われました参議院選挙では、皆様方の多大なるご支援をいただきまして宮島会長が見事当選を果たしました事、大変感謝しております。現在、厚生労働委員会で活躍されておられます。政治とは無関係と思っておられる会員の方々もこの選挙で政治を身近に感じてくださった事と思います。今後、宮島会長の活躍をご覧になっていくうちに私たちの身分の確立などは政治抜きでは成り立たないことを感じられることでしょう。

臨床検査技師は、長年、表に出ることが少なく、誠実にコツコツと業務を遂行してまいりました。そのためか、病院内外での「臨床検査技師」の知名度は高くはありませんでした。しかし、この数年、臨床検査技師会は大きく変わろうとしています。検査説明→検体採取→検査の実施→結果報告相談と「検査に関することは臨床検査技師の手で！」を目標に、外に向けての活動を広げております。病棟・在宅・認知症領域への介入も進んでおります。当然、根幹である検査についての知識と技術のスキルアップもしていかなくてはなりません。両輪がうまく回ってこそ臨床検査技師の評価が上がるというものです。2025年問題に向けて医療情勢が変わっていく中、私たちも後れを取らないように、今年こそ活動の場を広げていく足がかりを掴む年にしなければなりません。

さて、今年は「酉年」です。例年、年賀はがきを話題にしておりますが、12年前のはがきはニワトリでした。今年は卵が描かれています。どちらが先かは結論の出ない話ですが、身近な事から、診療報酬点数が付いたから始めるか、自分たちの手で始めていき実績を積んで診療報酬点数として認められるか、に置き換えて考えてみました。待っていても何も変わりません。自分たちに求められている事を察知して自ら行動を起こし、さらに将来を考えて進むべき道を模索しながら活動の場を広げていくことが重要だと考えました。

本年が皆さまにとって素晴らしい年になりますことを心からお祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。そして、本年も岡山県臨床検査技師会へのご理解ご協力を賜りますようによろしくお願い申し上げます。

(一社) 岡山県臨床検査技師会
会長 岡本 由美

◆これからの岡山県臨床検査技師会の予定

月	日(曜)	講演会・行事など
1月	14(土)	病理細胞部門講演会 困った病理4「病理検査とホルモリン管理」 会 場: 岡山大学医学部保健学科 301大講義室
	15(日)	総合管理部門講演会「平成28年度 糖尿病療養指導講演会」 会 場: 川崎現代医学博物館
	21(土)	生理機能部門講演会「小児脳波セミナー ～入門編:あなたも明日から脳波が読めるようになる～」 会 場: 岡山大学病院 管理棟6階 第7カンファレンスルーム
2月	4(土)	生物化学分析部門講演会 基質濃度測定の基礎と実習 「過酸化水素水・POD系検出と2ポイント法を知る」 会 場: 倉敷芸術科学大学 2号館2101室 23号館2階大実習室
	4(土)	OT [®] 研修会「聴く力、話す力 ～よりよい人間関係を育むために～」 会 場: 岡山済生会総合病院 管理棟4階「さいゆうホール」
	11(土)・12(日)	検査説明・相談の出来る臨床検査技師育成講習会 会 場: 岡山旭東病院 パッチ・アダムスホール
	15(水)	玉野地区講演会「心電図検査はわかりと機器メンテナンス」 会 場: 玉野三井病院 2階会議室
	18(土)	一般検査部門講演会「便検査の“うんちく”話」 会 場: 川崎医療短期大学 200号大講義室
3月	26(日)	移植検査部門講演会「第2回 輸血の困ったを解決する」 NEW!! 会 場: 岡山大学病院マスカットキューブ
	5(日)	第47回 岡山県医学検査学会 NEW!! 会 場: 川崎医療短期大学

※関連学会、団体行事、後援行事などは、本会報の別ページおよびホームページにも掲載しています。

講習会など行事予定は携帯電話からもアクセスできます。

<http://www.okaringi.or.jp/yotei/mobile/yoteimobile.htm>



学術部からの お知らせ

病理細胞部門講演会

- 日時** 平成29年1月14日(土) 14:00～17:30
場所 岡山大学医学部保健学科301大講義室
内容 困った病理4「病理検査とホルマリン管理」
「ホルマリン管理の現状報告－岡山済生会総合病院の現状－」
岡山済生会総合病院 野口 裕太郎 先生
「ホルマリン管理の現状報告－岡山大学病院の現状－」
岡山大学病院 濱田 香菜 先生
「ホルマリン管理の現状報告－岡山協立病院の現状－」
総合病院岡山協立病院 山崎 友奨 先生
「ホルマリン管理の現状報告－県内アンケート調査のまとめ－」
岡山大学病院 藤田 勝 先生
「ホルマリン固定の原理とホルマリンの有害性及び法規制」
サクラファインテックジャパン株式会社 渡辺 明朗 先生
- 生涯教育点数** 専門－20点
参加費 500円
問合せ先 岡山大学病院 病理部 藤田 勝
TEL: 086-235-7760 E-mail: me7911@hp.okayama-u.ac.jp

☆講演会のポイント：病理検査といえばホルマリンは避けて通れないもの。そもそもホルマリンとは何なのか、そしてその毒性が取りざたされる中でいかにしてホルマリンに対峙していくか。今回の講演会を通じて、県内の病理検査部門におけるホルマリン管理の現状を明らかにし、県内各施設にお願いしたホルマリン取り扱いに関するアンケート集計も交えながら、今後のホルマリン取り扱いについて議論を深めたいと思います。ぜひご参加ください。

なお、本講演会は、日臨技より「病理認定技師の指定講習会」認定をいただいています。

総合管理部門講演会

- 日時** 平成29年1月15日(日) 13:00～16:30
場所 川崎医科大学現代医学教育博物館
内容 「平成28年度 糖尿病療養指導講演会 ～糖尿病の理解を深めよう～」
「患者対応 マル秘テクニック」
倉敷成人病センター 糖尿病看護認定看護師 笹邊 順子 先生
倉敷リバーサイド病院 臨床検査室 主任技師 中川 裕美 先生
「日本人2型糖尿病の生活習慣に及ぼす環境因子の影響」
= Hawaii, Los Angeles and Hiroshima Study =
川崎医科大学 糖尿病・代謝内分泌内科学 准教授 中西 修平 先生
- 生涯教育点数** 専門－20点
参加費 500円 検査技師会会員および、その他各種関連団体の会員（看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士等）、検査技師会非会員は、3,000円
問合せ先 岡村一心堂病院 梶谷 博則
TEL: 086-942-9900 E-mail: h.kaji.0206@gmail.com

☆講演会のポイント：厚生労働省の報告では、糖尿病の患者数は316万6,000人と過去最高となっています。今回の講習会の特別講演では、川崎医大の中西先生をお迎えし、欧米に居住する日系人と日本人に発症する疾病の比較研究からみえてくる、糖尿病をはじめとした生活習慣病についてご講演いただきます。また教育講演では、糖尿病看護認定看護師の笹邊先生と日本糖尿病療養指導士の中川先生に、患者さん対応がどうしたら上手にできるか、マル秘テクニックを実践形式で講演いただきます。なお、本研修会は、おかやま糖尿病サポーター、日本糖尿病療養指導士の更新のための研修会として承認されております。

生理機能部門講演会

- 日時** 平成29年1月21日(土) 14:00～16:00
場所 岡山大学病院 管理棟6階 第7カンファレンスルーム
内容 「小児脳波セミナー ～入門編：あなたも明日から脳波が読めるようになる！～
小児脳波の初心者向け脳波判読について」
岡山大学病院 小児神経科 秋山 倫之 先生
- 生涯教育点数** 基礎－20点
参加費 500円
問合せ先 倉敷中央病院 臨床検査技術部 筑地 日出文
TEL: 086-422-0210 (PHS: 3699) E-mail: chikuji@kchnet.or.jp

☆講演会のポイント：小児脳波の読み方について、初心者向けに判読のポイントなど実際の脳波を見ながら講演して頂きます。また、脳波判読医の目線から脳波測定時の注意点など業務に役立つ内容になっています。

生物化学分析部門講演会

- 日時** 平成29年2月4日(土) 10:00～17:00
場所 倉敷芸術科学大学 2号館2101室 23号館2階大実習室
内容 「基質濃度測定の基礎と実習」
過酸化水素水・POD系検出と2ポイント法を知る」
演題「1ポイント法、2ポイント法による基質濃度測定」
倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科 藤本 一満 先生

実技「過酸化水素・POD系試薬調製および2ポイント法による基質濃度測定」

指導者：倉敷芸術科学大学：藤本 一満 川崎医科大学附属病院：古川 聡子
岡山大学病院：三宅 雅之 心臓病センター榊原病院：黄江 泰晴
岡山療養センター：高橋 陽平 岡山大学病院：大久保 進之介

生涯教育点数 専門－20点
参加費 3,000円 検査技師会非会員は、6,000円 ※事前登録制
問合せ先 倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科 藤本 一満
TEL：086-440-1039 E-mail：fujimoto@sci.kusa.ac.jp

☆講演会のポイント：基質濃度分析に関わる講義を行った後に、過酸化水素・POD系によるグルコース測定試薬を自家調製し、吸収曲線、直線性、共存物質の影響等の基礎性能試験と1ポイント法、2ポイント法による濃度算出を各自で行い、測定方法と計算法の理解を深めます。

(白衣、ゴム手袋、紙マスク、電卓、筆記用具、グラフ用紙、マジック等は持参して下さい)

※大学までは、新倉敷駅から両備バスあるいは自家用車をご利用下さい。

尚、自家用車の方は、入場門で守衛室に声をかけて入場してください。(駐車料金は無料です)

総合管理部門

「平成28年度検査説明・相談の出来る臨床検査技師育成講習会」

日時 平成29年2月11日(土) 9：00～17：30
2月12日(日) 9：00～16：00

場所 岡山旭東病院 パッチ・アダムスホール

生涯教育点数 基礎－30点

受講料 10,000円 ※事前登録制

問合せ先 岡山旭東病院 診療技術部 臨床検査課 藤岡 克徳
TEL：086-276-3231 E-mail：fuji-ok@kyokuto.or.jp

☆講演会のポイント：専門性を発揮したチーム医療推進のため、「検査説明・相談の出来る臨床検査技師育成講習会」を企画しました。そのスキルアップに必要な知識だけでなく、ロールプレイや検査説明実習を交えての2日間の講習会となります。多くの方の参加をお待ちしています。

玉野地区講演会

日時 平成29年2月15日(水) 19：00～20：30

場所 玉野三井病院 2階会議室

内容 「心電図検査はわかりと機器メンテナンス」

「あなたもできる心電図判読 見逃してはいけない所見」

倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科 泉 礼司 先生

「心電図検査装置のメンテナンス」

フクダ電子(株) 未定

生涯教育点数 専門－20点

参加費 500円 (事前申し込み必要)

問合せ先 玉野三井病院 高津 昌吾
TEL：0863-31-4187 E-mail：tak2@mes.co.jp

☆講演会のポイント：本年度の玉野地区講演会では、心電図検査を取り上げます。心電図検査の実施や精度管理上に重要な機器のメンテナンスと、心電図検査の基礎から見逃してはいけない心電図について、実務に即した内容を予定しています。お近くのスタッフ(看護師など関連団体の方の参加も可)にもお声かけいただき、多数のご参集をよろしく願いいたします。

※会場の都合がありますので、参加希望の方はご連絡をお願いします。必ずEメールにてお申し込みください。

申し込みメールには以下の事項を明記してください。(施設でまとめてお申込みいただいても結構です。)

①参加者氏名②代表者氏名③勤務先④連絡先⑤緊急時連絡先(荒天などによる当日中止の際の緊急連絡先)

一般検査部門講演会

日時 平成29年2月18日(土) 14：30～16：40

場所 川崎医療短期大学 200号大講義室

内容 「平成28年度 第2回 一般検査部門講演会 ～便検査の“うんちく”話～」

「便へモグロビン検査の今後の展望 ～大腸ガン検診にどう役立てるか?～」

川崎医科大学附属病院 海津 博子 先生

「寄生虫のひみつ」

川崎医科大学附属川崎病院 見手倉 久治 先生

生涯教育点数 専門－20点

参加費 500円

問合せ先 岡山旭東病院 藤岡 克徳
TEL：086-276-3231 E-mail：fuji-ok@kyokuto.or.jp

☆講演会のポイント：大腸がん検診において重要な検査である便へモ検査について、今後の展望を臨床検査技師の立場からと各メーカーからの立場でそれぞれお話をいただきます。精度管理調査を通じて得られた知見についても発表していただく予定です。また、今ではあまり目にすることが少なくなった寄生虫ではありますが、その素敵な“秘密”についてお話しいたします。

移植検査部門講演会 **NEW!!**

日 時	平成29年2月26日(日) 13:00 ~ 15:00
場 所	岡山大学病院マスカットキューブ
内 容	「第2回 輸血の困ったを解決する」
生涯教育点数	専門-20点
参加費	500円
問合せ先	岡山済生会総合病院 中央検査科 木村 泰治 TEL: 086-252-2211 E-mail: okarin1@titan.ocn.ne.jp

☆講演会のポイント：昨年に引き続き「輸血の困ったを解決する」を開催します。今回は、輸血業務と他の検査を掛け持ちしている方々や、日当だけで輸血検査を専門としていない方々の疑問を中心に解決したいと考えています。職場では聞けない…、検査方法がわからない、先生や看護師さんにどう答えよう…など、今更聞けないと思っていることや、日頃困っていることなどに、輸血委員が親身になってお答えします。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

第47回 岡山県医学検査学会 特別講演 **NEW!!**

日 時	平成29年3月5日(日)
場 所	川崎医療短期大学 200号大講義室
内 容	「岡山認知症診療から見えてきたこと」 岡山大学病院 神経内科 講師 山下 徹 先生 「認知症への臨床検査技師としてのかかわり方」 市立宇和島病院 副技師長 高村 好実 先生 (愛媛県臨床検査技師会会長)

☆講演会のポイント：日本は2025年超高齢化社会の到来とともに、認知症の患者数は700万人に達すると言われ、認知症対策は国をあげての喫緊の課題となってきています。日本臨床衛生検査技師会でも臨床検査技師が積極的に関与し、認知症発症予防への社会的な要請に応えるため、認定認知症領域検査技師制度の創設など様々な取り組みを行っていますが、岡山県ではあまり取り組みが出来ておりません。そこで今回の特別講演では岡山大学病院神経内科で認知症の治療をされています山下先生をお迎えして、アルツハイマー病(認知症)の病態ならびに診断・治療、さらには今後認知症診療における検査技師に求められる役割をお話しいたします。また、認知症と脳血管障害の関係と、若々しい脳血管を保つための治療法や、生活上の注意点も紹介していただきます。もうおひとり、愛媛県臨床検査技師会会長で認定認知症領域検査技師でもあります、高村先生に実際の検査技師としてのかかわり方をご講演いただきます。
※県学会の詳細事項につきましては、会報2月号に掲載予定です。

関連団体からのご案内

日臨技医療政策企画 認知症領域での検査技師実践啓発 講習会

日 時	平成 29年1月15日(日) 9:30 ~ 16:30
場 所	日本臨床検査技師会館 3階第一会議室
内 容	「認知症領域での臨床検査技師の活躍をめざして」

※詳細は、日臨技HPの日臨技主催研修会をご確認ください。

渉外部からのお知らせ

第8回 OKAYAMA Technologist Cubic (OT³) セミナー

日 時	平成29年2月4日(土) 14:00 ~ 17:00 ※事前予約制
場 所	岡山済生会総合病院 管理棟4階 さいゆうホール
内 容	講演「聴く力、話す力 ~よりよい人間関係を育むために~」 グループワーク「職場の連携を円滑にするために ~傾聴と自己表現~」

☆講演のポイント：今年のOT³セミナーは「聴く力、話す力 ~よりよい人間関係を育むために~」のテーマのもと、講義だけでなく、歌ったり、詩を朗読したり、ゲームをしたり、グループワークも取り入れた研修会としました。

各施設でこれから先輩技師(士)として、リーダーとして成長していく若い技師(士)の皆さんに、よりよい人間関係を育むために、チーム医療を円滑に行うために、必要なスキルを楽しみながら身につけていただきたいと考えています。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

第52回 岡山県臨床検査技師会ソフトボール大会の結果

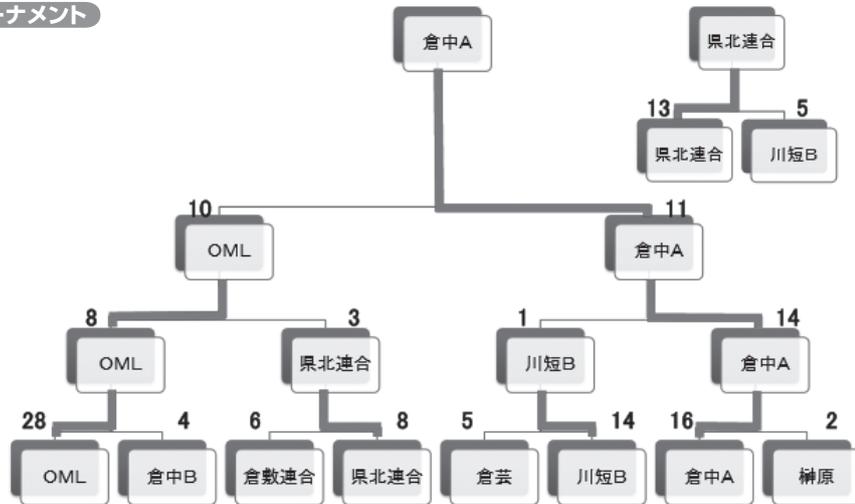
日 時	平成28年10月30日(日)
会 場	山田グリーンパーク
優 勝	倉敷中央病院A
準優勝	岡山医学検査センター

3 位：県北連合 4 位：川崎医療短期大学

ホームラン競争

- 男子 1位：渡部 直人 (鏡野国民健康保険病院)
 2位：大西 一成 (倉敷中央病院)
 3位：嘉見 裕助 (倉敷連合 エーディア株式会社)
- 女子 1位：吉田 祐子 (川崎医療短期大学)
 2位：藤井 明穂 (倉敷芸術科学大学 生命医科学科)
 3位：安田 愛子 (岡山医学検査センター)

決勝トーナメント



各賞受賞者の声

優勝チーム

今年は天候にも恵まれ、秋晴れの中、ソフトボール大会が開催されました。今年も業務後に練習を行い、技術はもちろんのこと、若手とベテランの垣根を越えてチームワークを高めてきました。みんなで一丸となって挑んだ結果、優勝という最高の形で終えることができました。誰かがミスをすればみんなで励まし、いいプレーをすればみんなで喜ぶ、そんな雰囲気が私は大好きです。来年も5連覇目指して、日々精進していきたいと思います。

最後になりましたが、大会運営にご尽力いただきました皆様、また審判員の方々に厚く御礼申し上げます。
 (倉敷中央病院Aチーム 黒木 梨沙)



準優勝チーム

1年ぶりの準優勝で、楽しい1日を過ごすことができました。いつか優勝できればと思います。大会までに色々準備していただいた方々に感謝申し上げます。

(岡山医学検査センター)



ホームラン競争

1位

自称「県北の主砲」と家族の前で言っていたので、今回ホームラン競争に優勝することでそれを証明することができました。午前中は私用のため予選後からの参加で、到着早々でのホームラン競争参加でした。子ども達も応援に来てくれており、最終打者という見せ場で渾身の一発を見せることができ大変嬉しく思います。今大会運営にご尽力いただいた方々、県北チームのみなさんに感謝申し上げます。

渡部 直人（鏡野国民健康保険病院）

2位

今回のソフトボール大会は自分が入職して初めての大会でした。今年も天気に恵まれて快晴の中気持ちよくプレーすることができました。その大会の中のホームラン競争に私は参加させていただきました。各チームから男女1名ずつのみ参加ということで、選ばれた時は非常にプレッシャーがかかりました。ですが同僚たちや先輩たちの応援のおかげで打席ではリラックスしてスイングすることができ、準優勝という結果を残すことができました。これは自分でも予想もしていなかったので非常に満足な結果となりました。来年はホームラン競争には参加できないかもしれませんが、来年以降もソフトボール大会には参加していきたいと思っています。

大西 一成（倉敷中央病院）

3位

この度、ホームラン競争に参加させて頂きました。

打撃に関しては一家言あるメンバー方々の教えを忠実に守った結果、倉敷連合19名の想いを乗せた打球は高々と空に舞いレフト前にポトリと落ちました。フォローウインドウに助けられたようです。

岡山県臨床検査技師会様におかれましては引き続き「良い風」が吹きますようお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

嘉見 裕助（倉敷連合 エーディア株式会社）

女子

1位

初めての大会、初めてのホームラン競争、さらにトップバッターだったのでとても緊張しました。そんな中、1位を獲得することができたへん嬉しいです。これを励みに今後も練習を頑張り、来年はチーム優勝を目指したいと思います。

吉田 祐子（川崎医療短期大学）

2位

チーム代表としてホームラン競争に参加し、女性の部で第2位という奇跡的な順位を獲得できてとても嬉しく思います。また、今年も大会に参加させていただきありがとうございました。次はチームで優勝できるよう頑張ります！来年もよろしく願いいたします。

藤井 明穂（倉敷芸術科学大学 生命医科学科）

3位

3位になることができ、すごく嬉しいです。次回があればさらに上位になれるよう頑張りたいです。

安田 愛子（岡山医学検査センター）

【会員のホームページへのアクセス方法】 ユーザー名：okayama パスワード：sinpo658 でログインしてください。

◆岡山県の会員動向◆

会員数：1,365（10月1,362）
平成28年11月末現在

「会員だより」「お知らせ」などの問合せ先

倉敷リバーサイド病院 臨床検査室：中川 裕美まで
TEL：086-448-1111（内線201） E-mail：hn8226@kchnet.or.jp